



杉並区

すぎなみ

# 教育報

第168号

平成15年3月14日

発行 杉並区教育委員会

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎ 3312-2111 FAX 5307-0692

区公式ホームページ

<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

## 杉並区立教育機関がISO14001の認証を取得しました



杉並区立教育機関は、2月14日にISO14001の認証を取得しました。この認証取得は、みなさんの学校、利用されている体育館や図書館などの教育施設での様々な活動を通じて、多くの人の環境を守る気持ちが育っていくことをめざしています。これからも授業や行事、社会教育の講座などで、環境について働きかけを行っていきます。

ISO14001とは・・・環境マネジメントシステム国際規格。組織が自らの活動から生じる環境影響を、自主的かつ継続的に改善していくための仕組みを定めた国際的な基準。



### 杉並区立教育機関の環境方針

杉並区の教育施設が環境を守って行動する、主な具体例を表しています。

- 省エネルギー  
・省資源の推進
- 電気、ガス、水道、用紙使用量の削減
  - ごみの発生抑制、資源リサイクルの推進

- 環境に配慮した  
物品の購入及び使用
- グリーン購入の推進

- 人と自然のふれあいの  
ある教育施設づくり
- 施設緑化
  - ビオトープづくり

- 薬品等の適正管理
- 理科実験用薬品の管理
  - フロン使用機器の管理
  - PCB使用機器の管理

- 環境教育の推進
- 環境教育の実施
  - 環境教育の研究
  - インターネットによる、杉並区の環境教育の発信
  - 地域の中への環境教育の展開

環境方針



杉並区の教育機関には、ISO14001認証取得のステッカーが貼られています。このステッカーを貼ることにより、環境を守る心を育てる施設であることを地域の方々に表明しています。

### ISO14001 登録書授与式を行います

ISO14001登録書の授与式を行い、学校や教育施設から家庭、地域へと環境への意識を広げていくことを宣言します。この機会に、より多くの方々に杉並区立教育機関の環境への活動を知ってもらいたいと思います。

日時：3月27日（木） 午後12時45分から  
場所：阿佐ヶ谷中学校  
授与式は、教育フォーラムの中で行います。  
(教育フォーラムのお知らせは4面をご覧ください。)

### 済美小学校4年生 「自分の木」を 調べる・発信する・好きになる学習

済美小4年生は、総合的な学習の時間に木を題材にした学習をしてきました。

子どもたちは、校庭の木の中から「自分の木」を選び、1学期はネイチャーゲームなどを通して木に親しみました。

2学期には木の実や葉を使って「自分の木」について調べる活動をしました。カッターで実を切って見る子、インターネットや図鑑で木の名前の由来を調べる子、みんな木に愛着を持って学んでいる様子が伝わってきました。

そして3学期、「自分の木」について学年のみんなに発表する「ポスターセッション」を行いました。「私のチャームポイントは・・・」ぼくは九州の南の国からやってきました。」



こんな活動も  
しています！



科学館では「環境問題最前線」と題して、区民のみなさんを対象に、環境についての講演を開催しました。



杉並第三小学校5年生は、「エコプロダクツ2002」に参加し、東京ビックサイトにて自分たちが環境について学んだことを、多くの方々の前で発表しました。



中学校の先生たちの環境教育部では、環境学習のノウハウを自主的に研究しています。この日はペットボトルを利用したハーブや野菜の挿し木づくりを行いました。

自分が木になった気持ちで、いきいきとスピーチする子どもたち。また、聞き手になった子どもたちも、活発に質問をしたり、意見交換をしたりしました。

4年生の学習には、地域のサポーターの方が力を貸してくれています。木を調べる活動では、子どもたち一人ひとりにアドバイスをし、木についていっしょに調べてくれました。また、済美の森のたくさんの落ち葉を利用した堆肥づくりの指導もしてくれています。保護者の方も協力して、みんなで楽しく堆肥づくりに取り組んでいます。

学校・地域・家庭が一体となったこの学習。子どもたちとともに、よりよい環境を考えることにつながる活動となりました。

自分の木の短歌をつくりました

アオギリは 負けない事が一つある  
葉っぱの大きさ たぶん負けない

ヤエザクラ フリルのような花びらが  
とてもかわいい すぐくかわいい

# 杉並区立教育機関は ISO 14001 学校で、地域で、 環境

小・中学校や幼稚園、社会教育会館などの人たちが様々な環境学習を行っています。ご覧ください。今後も教育委員会は、ISO14001教育施設、家庭での環境学習をすすめています。

## 地域の方々からの提案 「ピオトープづくりをはじめませんか」

昨年5～6月、「杉並の環境をよくする会」の方々が主催したピオトープに関する講座が行われました。この講座は、ピオトープについての疑問を解決するだけでなく、これからのピオトープづくりに関わる人たちの人材育成と関係づくりを目的としています。

全5回の講座では、他の自治体の公園管理をしているボランティア団体の活動を見学したり、受講者みんなで「こんなピオトープがほしい」と題して、荻窪に建設予定の複合施設のピオトープの案の作成をしたりと、今後の活動に活かせる学びを展開していきました。

4回目には、杉並区の職員や学校の先生をパネラーに迎え、区の

環境への取り組みの現状をお聞きしました。パネラーのみなさんは「地域の方々の協力が必要です。」と、環境においても区民参画の視点の重要性を話してくれました。

後半は質問の時間が持たれ、「環境に関心がありますが、区や学校とどのように関わられますか？」など受講者の意欲あふれる質問がたくさん飛び出しました。

区民自らが考えたピオトープについての原案は、提案書として杉並区へ提出されました。



## 済美教育研究所 教育研究 先生たちによる環境教育の 在り方の研究

今年度、済美教育研究所の教育研究の一つとして、学校の先生たちによる環境学習の在り方の研究が行われました。

2月6日に行われた研究発表会では、「感じ考え発信する環境教育の在り方」をテーマに、9名の先生が授業を通して得た環境学習の指導方法、これからの課題などを発表しました。

実践例として、KidsISO14000sを使ったエコプランの作成や、環境に気をつけた買い物の仕方の体験や発信をあげ、子どもたちが実感できる学習が紹介されました。

この研究は「出会い・実体験・発信」がポイントとなっています。地域の方々をはじめ、環境保全に関わる人や教材との出会いをきっかけに、自ら自然や社会を知る実体験を重ね、クラスの仲間や自分の家族などへ、環境への関心や意欲を発信していく子どもの育成を研究のねらいとしています。このような学習プロセスの繰り返しこそが、子どもたちの行動力を育てる学習となるのです。

研究発表会当日、沓掛小5年生を対象にみくらしま御蔵島の自然に関する授業を行い、子どもたちの発言の中から、環境に対する興味の深さや自然保護への強い気持ちが十分伝わってきました。

# 14001を認証取得しました みんなで学ぶ 学習

などを舞台に、大人から子どもまで多くいます。環境を守る心を育てる取り組みをISO14001認証取得を契機に、学校やていきます。



若杉小学校のピオトープ。子どもたちの環境学習にも活用されています。



(敬称略)

### 文化栄誉顕彰

杉並区の幼稚園、小・中学校、養護学校の児童・生徒の文化活動に関する優秀な成績をたたえ、顕彰しています。

受章者及び団体	功 績 概 要
光塩女子学院中等科1年 滝川 ゆず	第46回全国学芸科学コンクール作文部門金賞 文部科学大臣奨励賞
光塩女子学院中等科3年 中島 マリア美知子	第46回全国学芸科学コンクール読書感想文部門銀賞 旺文社赤尾好夫記念賞
光塩女子学院中等科3年 新井 結	第9回「朝日・新聞スクラップコンクール」 審査員特別賞
國學院大学久我山中学校3年 三留 さおり	第26回毎日全国学生書写書道展優秀特選 書写検準大賞
杉並第三小学校6年 土戸 すみれ	SAM世界ニューヨーク大会ジュニア部門 優勝
杉並第十小学校3年 恩田 明未	平成14年度歯の衛生週間標語コンクール 代表賞
桃井第二小学校5年 横田 哲平	「城の自由研究」コンテスト 優秀賞
桃井第二小学校6年 牛田 浩太郎	第41回かんぼ作文コンクール 東京都知事賞
高井戸小学校5年 宇野 將至	第41回かんぼ作文コンクール 東京郵政局長賞
高井戸小学校5年 久保 花織	第41回かんぼ作文コンクール 東京郵政局長賞
四宮小学校6年 川崎 基資	Kids ISO14000 s プログラム 東京都知事賞
浜田山小学校5年 田中 耕太郎	第6回図書館を使った「調べる」学習賞コンクール 学校部門 優秀賞・審査員特別賞
大宮中学校3年 伊藤 恵詞	第6回図書館を使った「調べる」学習賞コンクール 学校部門 優秀賞
大宮中学校3年 田中 耕太郎	杉並区の自然環境保全への尽力 緑・花文化の知識認定試験 最年少特級認定者(平成13・14年度)など
阿佐ヶ谷中学校1年 上野 星矢	第56回全日本学生音楽コンクール 奨励賞
井荻中学校3年 石原 加奈子	第19回伝統的工芸品月間図画・作文コンクール 関東経済産業局長賞(関東コンクール) 全国都道府県教育委員会連合会会長賞
宮前中学校2年 岡野 のぞみ	第7回全国中学校技術・家庭科生徒作品コンクール 全国市町村教育委員会連合会会長賞

# ★★★受章者のみなさん、おめでとう★★★

## スポーツ栄誉顕彰

今年度のスポーツ栄誉顕彰と文化栄  
3月17日には、両受賞者の活躍

受章者及び団体	功 績 概 要
高井戸中学校2年 中塚 寿昌	第11回「明日のTOKYO」作文コンクール 入選
高井戸中学校2年 浅野 理沙	第48回青少年読書感想文全国コンクール 毎日新聞社賞
東原中学校1年 勝木 洋臣	第40回中学生作文コンクール 地方別生命保険文化センター賞 1等
東原中学校 放送部	第19回NHK杯全国中学校放送コンテスト テレビ番組部門優秀賞

(敬称略)

### スポーツ栄誉顕彰

全国・関東大会・東京都の体育大会などにおいて優秀な成績を収めた方々に対し、その栄誉を顕彰しています。

受章者及び団体	功 績 概 要
東京女子大学 青木 みあ	第75回日本学生水上競技選手権大会 (フィギュアスケート)
國學院大学久我山高等学校 安西 信昌	JOC杯全日本ジュニアレスリング大会
日本大学第二高等学校水泳部 内山 真理子	第57回国民体育大会 (水泳 飛込)
杉並区太極拳連盟 下山 和久	第19回全日本武術太極拳選手権大会
杉並区柔道会 早田 英美	平成14年度全国女子柔道体重別選手権大会
東京女子大学 田島 聖子	2002年度日本学生オリエンテーリング選手権ショート ディスタンス競技大会
杉並区トライアスロン連合 中野 昭二	2002 A S T C アジアトライアスロン選手権中国大会

### 学校との意見交換を行いました 教育委員と語る会

1月中旬、西宮中学校の先生や職員17名と教育委員5名が、教育が抱える問題や課題について自由に語り合いました。

教育委員は、今までも学校訪問などを通して教育現場への理解を深めてきましたが、現場の先生たちとのこのような懇談は、今回が初めてです。

まずは、学校の1年間の活動について、先生から説明がありました。西宮中では、今年度から本格実施となった総合的な学習の時間に国際理解教育や職業体験など



を取り入れ、生徒たちの生きる力を育てています。

学校週5日制に伴う授業時間の減少による影響や、生徒たちの進学や家庭について教育委員から先生たちへ質問が出ました。先生たちは、学校の体制や生徒の反応など、日々学校で感じていることを率直に語り、それに対して教育委員も意見を出し、活発な議論が行われました。

また、二学期制や中高一貫教育についても意見交換があり、今後、このような課題を検討する際の参考意見も聞かれました。

「今度はテーマをしぼって話したい。」  
「会のなかで、具体的な話ができてよか



った。」教育委員との懇談後の西宮中の先生や職員の感想です。

今後も、教育委員は教育現場に足を運び、みなさんの意見に耳を傾けていきます。

### 先生必見！総合学習のヒント満載！

## 教育フォーラム



「地域の力と学校の力で子どもたちに豊かな教育を」  
～「学びの動機付け」子どもの意欲を引き出すために～

地域と協働した「総合的な学習の時間」の事例をもとに、「学校」が地域・NPO・企業の力を活用し、効果的に教育実践を展開していくための方策について考えていくフォーラムを開催します。先生も学校を応援しようと考えている方もぜひ、足を運んでください。魅力的な総合学習のための手がかりがきっと見つかります。

松本市立山辺中学校から～「山辺ドリーム大学」の実践～  
地域住民がまちぐるみで総合学習を支えた「山辺ドリーム大学」の感動の秘話

#### パネルディスカッション

「今何ができるか」・・・ユニークな学校支援者と現場教員が織り成す熱きメッセージ

#### ワークショップ・展示・体験

環境、福祉、情報、文化など切り口は様々。企業やNPOの授業支援プログラムは必見

日時：3月27日(木) 午後12時～4時30分

場所：阿佐ヶ谷中学校

主催：東京都教育委員会

共催：杉並区教育委員会

後援：杉並区教育研究会 杉並区中学校教育研究会

問い合わせ先：庶務課

# おめでとうございます★★★ 彰&文化栄誉顕彰

文化栄誉顕彰の受賞者が決定しました。  
活躍を表彰する式典を行います。

受章者及び団体	功績概要
杉並区アーチェリー協会 前田 弘毅	第23回全日本社会人フィールドアーチェリー選手権大会
杉並区水泳連盟 松本 琴江	ジャパンマスターズ2002 (水泳)
江副 恵太	第2回全国障害者スポーツ大会 (陸上)
杉並区身体障害者協会 川上 昭夫	第2回全国障害者スポーツ大会 (陸上)
筑波大学附属豊学校高等部 菊永 ふみ	第2回全国障害者スポーツ大会 (陸上)
佼成学園高等学校 木村 潤平	第2回全国障害者スポーツ大会 (水泳)
杉並区身体障害者協会 佃 総一郎	第2回全国障害者スポーツ大会 (水泳)
國學院大學久我山高等学校 佐藤 善和	全国高等学校剣道大会東京都予選
杉並区ソフトテニス連盟 岡沢 正子	平成14年度東京選手権大会 (ソフトテニス)
杉並区パドルテニス協会 柵山 龍男	平成14年度都民スポレクふれあい大会第1回東京都パドルテニス大会
杉並区バドミントン連盟 武田 享	平成14年度東京都ダブルス選手権大会 (バドミントン)
國學院大學久我山中学校 中嶋 基大	第45回東京私立中学校・高等学校対抗 陸上競技選手権大会
井草中学校 引間 文佳	平成14年度東京都中学校新体操学年別新人大会
文化女子大学附属杉並高等学校 山本 織絵	平成14年度全国高等学校剣道大会東京都予選
國學院大學久我山中学校 岡 なつき	第26回関東中学校水泳競技大会

受章者及び団体	功績概要
杉並区柔道会 久田 さやか	平成14年度関東高等学校体育大会 第50回関東高等学校柔道大会
文化女子大学附属杉並中学校 井上 朋美	第55回東京都中学校卓球選手権大会
國學院大學久我山中学校 ラグビー部	平成14年度東京都中学校秋季ラグビーフットボール大会
國學院大學久我山高等学校 ラグビー部	第82回全国高等学校ラグビーフットボール大会 東京都予選
久我山イーグルススポーツ少年団	平成14年度東京都スポーツ少年団大会 (軟式野球)
杉並ジャイアンツ	平成14年度東京都スポーツ少年団大会 (軟式野球)
東京立正高等学校水泳部	平成14年度東京都高等学校春季水泳競技大会
東京立正中学校水泳部	平成14年度全国中学校水泳競技大会 (女子400mメドレーリレー)
東京立正中学校水泳部	平成14年度全国中学校水泳競技大会 (女子400mリレー)
東京立正中学校ソフトボール部	平成14年度全国中学校体育大会第24回全国中学校ソフトボール大会
文化女子大学附属杉並高等学校 ソフトテニス部	第36回全日本私立高等学校選抜ソフトテニス大会
文化女子大学附属杉並高等学校 ハンドボール部	平成14年度関東高等学校ハンドボール大会 兼第48回関東高等学校ハンドボール選手権大会
文化女子大学附属杉並中学校 卓球部	第30回関東中学校卓球大会
文化女子大学附属杉並高等学校 弓道部	平成14年度東京都高等学校総合体育大会 (弓道)
文化女子大学附属杉並高等学校 弓道部	平成14年度弓道新人大会
國學院大學久我山高等学校 サッカー部	第81回全国高校サッカー選手権大会東京都大会
日大ニクラブ	平成14年度第19回全日本少年軟式野球東京都大会
和田中学校野球部	平成14年度第55回東京都中学校野球春季大会
早稲田大学ラグビー蹴球部	第39回全国大学選手権大会
東京杉一クラブ	ベプシカップ第22回全日本バレーボール小学生大会

## 教育委員からの発信

教育委員 安本 ゆみ



それまでわが子の学校にしか行ったこと  
なかつたわがしが、教育委員となつてから  
くさんの幼稚園、小学校、中学校にうかが  
機会を得ることになりました。学芸会、運動  
会、公開授業や研究発表会など、それぞれの  
学校には独特の個性と特有の雰囲気がありま  
す。でもどこへうかがつても、真剣まなざ  
しで先生のお話を聞く姿や校庭を走る元気な  
子どもたちは変わりません。地域の方たちや保  
護者のみなさまのご協力、教職員の努力、そ  
してなによりも子どもたちの「ここがわたし  
たちの大好きな大切な学校」という思いが創  
り出す大きくて暖かい力を感じます。

家庭の教育力が下がったとよく言われてい  
ますが、家庭においては子どもが親と子、世  
代を越えた人間関係などを学ぶだけでなく、  
子育てを通して見えるものの奥に隠れている  
今は見えないものを探りながら親もともに学  
び、ともに成長していくことが大切なのは  
ないでしょうか。めまぐるしく変わってゆく  
時代の中で、教育に対する考え方も大きく動  
いています。いつも関心を持って変わらぬ真  
理と本当に重要なことを見抜き、自ら考え、  
判断して選ぶということを忘れずにいたい  
と思っております。

幼稚園、学校は学ぶだけの場所ではありま  
せん。子どもたちが家族以外と接するはじめ  
ての外の社会です。そこにはそれなりの秩序  
や決まりがあつて、その中で自己を發揮する  
ことや自分とは違う価値観があること、そし  
てそれを認めること、ものごとの善悪の区別  
や自分の未来、人生を切り拓く力を育んでゆ  
くののだと思います。心に悲しみや悩みを抱え  
る子どもたちもいるでしょう。でも、学校は  
その苦しみを乗り越え新しい夢を見つけれ  
る場所であつてほしいのです。

文部科学省が打ち出した「ゆとりの教育」  
とはそうした人として生きてゆくために持た

### 「意見を待ちしています」

「教育委員からの発信」をお読みになつた方からの意見を募集いたします。  
ご意見は郵送、または区のホームページで受け付けます。  
送付先 〒166 8570 杉並区阿佐谷南1-15-1  
ホームページ <http://www.city.suginami.tokyo.jp/>  
杉並区教育委員会事務局庶務課 「教育委員への意見」あて

# わたしたちの先生自慢

パート

## 子どもたちの心と体に寄り添って

白石先生は、一人一人を大切にされた保健教育や不登校児へのきめ細やかな対応が評価され、教育表彰を受賞されました。先生の日常の活動や学校における健康教育についてお聞きしました。

桃井第三小学校養護教諭 しらishi 白石 せつこ 節子 先生

### 手当て=手を当てること

白石先生の主な仕事は、子どもたちのけがや病気の応急処置や健康診断をはじめ、総合的な学習の時間や保健学習に担任の先生と一っしょにチームティーチングで授業を行ったり、子どもたちの心や体の相談に応じたりすることです。

この日も休み時間になると、たくさん子どもたちが保健室に集まってきました。「先生、おでこ触って。」「どれどれ。」「白石先生はおでこに手を当てて、「大丈夫。いいおでこしてるね。」とその子を撫でてあげました。

子どもたちは「大丈夫。」と言ってもらったり、体に触れてもらうことで安心すると先生は言います。具合の悪い箇所に手を当てること、それが手当てなのです。



### 子どもの元気の素である家庭へのサポート

同じ悩みを抱えている親同士が意見交換できる機会があればと、以前から保護者の要望があり、平日は忙しい方でも土曜日なら相談に立ち寄れるかも...という思いから、白石先生は、毎月第一土曜日に「養生ルーム」と名づけ、保健室を開いています。

子どもたちが心も体も元気でいられるよう、保護者にも元気になってもらいたい、それが白石先生の願いです。

「校長先生をはじめ、みなさんの理解と協力があるので、多様な保健活動ができます。」と白石先生。桃三小では、白石先生を中心に子どもの健康教育をし、保護者とともに子どもの心と体の健康アップを実践しています。



# わたしたちの先生自慢

パート

## 「できた・わかった・見つけたよ」を促す算数指導

馬橋小学校 さかもと 坂元 よしひろ 良博 先生

坂元先生は、少人数指導やチームティーチングの授業を通じて、算数の楽しさを子どもたちに広めています。また、平成13、14年度の算数科の研究奨励校の研究を中心となつてすすめ、子どもたちがより理解を深められるよう教材研究を重ねてきました。今回、教育表彰を受賞された坂元良博先生を紹介しします。

### 基礎的・基本的な学力の定着をめざして

坂元先生は3～6年生の算数の少人数の授業に入り、指導をしています。馬橋小の少人数指導は、クラスを半分に分けて行う等質編成、子どもたちが自分の関心に合わせてコースを選ぶ関心意欲別編成、「じっくり」「ゆっくり」「チャレンジ」と理解度に合わせ先生と子どもが相談してコースを選択する習熟度別編成があります。

少人数指導の良いところは、子どもたちの発表の機会、手を挙げる回数が増えることやわからない部分をゆっくり先生に聞くことができる点です。



「間違ってもいいんだよ。」坂元先生は必ず、子どもたちに答えを求めるときにこう言います。授業のなかで子どものつまづきに気づくなど、一人一人への目配りを大切に、基礎・基本の学力を確実に身につけさせることをめざしています。

### 「算数って楽しい」の気持ちを育む

この日の授業は3年生の「重さ」。子どもたちは初めてはかりを使い、重さを体験しました。「はかりで量る前に、自分で重さを予想してみよう。」坂元先生は、このように実感を大事にした学習を心掛けています。

「算数が大好き！」授業後、3年生の子どもたちは元気に答えてくれました。その理由に、いろいろな事を自分たちで実践できる授業だから、わからない事は先生が丁寧に教えてくれるからという声がありました。

自分で考えて解いた喜びを実感させる、問題を解決するための考え方をじっくり指導する、こういった坂元先生の指導が子どもたちの算数への意欲を高めています。

## 和田小学校 藤原紀香さん迎えて アフガニスタンについて学ぶ

この度、和田小学校の5・6年生は毎日新聞の協力を得て、昨年アフガニスタンへ訪問し、現地で様々な体験をされた女優の藤原紀香さんからお話を伺うことになりました。

自分が生まれ育った地で起こった阪神・淡路大震災をきっかけに命の大切さを再確認した藤原さん。アフガニスタンでたくさんの争いごとが起こっていることを知り、「自分に何かできることはないか？」と考えたそうです。そして、昨年7月、数名のスタッフとともに現地へ旅立ちました。今回そこで出会った子どもたちの生活の様子を伝えてくれました。アフガニスタンの子どもたちは、家庭の事情などで約2割しか学校に通うことは



お話を聞く子どもたちの真剣なまなざし。藤原さんも話しに熱が入ります。



### 杉並区の教育への貢献を表彰 平成14年度



# 教育表彰

杉並区教育委員会は、優れた教育活動、研究などを行った先生や学校の職員を対象とした教育表彰を行っています。2月13日、授業や児童・生徒に対する指導、部活動などの場面で、工夫ある取り組みを行った先生、職員5名と学校1校を表彰しました。受賞者(校)とその功績は一覧をご覧ください。

所属学校名	氏名	功績内容
杉並第二小学校教諭	阿部 昭子	高千穂幼稚園の事件以来学校内の安全管理の徹底に特に尽力した。子どもたちの心と体の安全を一に願って地道に努力している姿は、後輩の教師の模範となり日々の穏やかな学校運営に大きく貢献している。
馬橋小学校教諭	坂元 良博	少人数指導者として、3年生以上の全学級で算数の授業に関わり、算数のおもしろさを子どもたちに広め、若い教師への指導も積極的に行い、信頼もあつい。全国算数教育研究発表会では坂元教諭の授業は教材の工夫、楽しさのある授業として、高く評価された。13、14年度研究奨励校の研究推進委員長としての重責を果たした。
東原中学校教諭	香取 武雄	東原に着任(平成9年)以来、部活動指導に精励し、放送部は、東京都中学校放送コンテスト、NHK杯全国中学校放送コンテストにおいて毎年優勝・準優勝等を受賞している。衰退気味といわれている部活動を子どもたちとともに活性化させている功績は大きい。
桃井第三小学校養護教諭	白石 節子	生活習慣病に対する予防指導、保健室登校児や不登校児に対しての個に応じた学習指導を積極的に行い、多くの成果をあげている。子どもだけでなく、親とゆっくり話す心と体の「養生ルーム」を開設し、保護者から大変喜ばれている。
松庵小学校栄養士	上野 泰雄	着任(平成8年)してすぐ「児童の給食委員会」を設立。子どもたちと積極的に関わり、担任・専科の教師とも連携しながら味噌作り・豆腐作り・うどん作りなど総合的学習の指導・助言を行った。栄養職員研修等の講師としても尽力し、学校給食の改善・充実のために貢献している。

学校名	功績内容
和田小学校	平成12、13、14年度文部科学省の科学技術・理科教育総合推進事業の実践協力校に指定された。子どもたちの理科離れが危惧される中、和田小学校の取り組みは科学技術・理科教育の推進に成果をあげた。



教育表彰を受賞された(左から)杉並第二小学校 阿部 昭子先生、東原中学校 香取 武雄先生、松庵小学校 栄養士 上野泰雄さん

藤原さんのところからのメッセージです。

平和はみんなが  
つくるもの。

Ready for  
peace

きないそうです。そんな厳しい生活の中でも、夢や希望をもって勉強に励む子どもたちの姿に、藤原さんは大きな感動を覚えました。

アフガニスタンには、今でもたくさんの地雷が埋まっています。藤原さんは、自ら撮った、地雷で片足を失った子どもの写真を見せ、地雷による被害をみんなに訴えました。

藤原さんのお話を聞いて、子どもたちはたくさんのことを考え、そして質問しました。「アフガニスタンへ行って、よかったと思うことは何ですか?」「アフガニスタンのことを思い出すことはありますか?」藤原さんは質問した子の目を見ながら、丁寧に答えられました。

「平和はみんなで作るもの」藤原さんが和田小のみんなに送ったメッセージです。子どもたちは、友だちを大事にする、人に親切にするなど、自分でもできることをやってみることが、平和をつくる第一歩なのだ藤原さんのお話から学ぶことができました。



写真：毎日新聞社提供



# 杉並のおかしを知ることができる 平成14年度 指定・登録文化財

平成14年度の指定・登録文化財をご紹介します。

## 茶作りの絵馬

荻窪八幡神社に伝わるこの絵馬は「板絵着色製茶図」といって、明治15年に良いお茶の収穫を祈願して奉納されたものです。お茶作りの作業の様子が描かれており、左側では三人が「ほいろ」という道具の上でお茶の葉を揉んで乾かす作業を行っており、右下の人は仕上げの作業をしています。

この絵馬がつけられた明治時代の初めには、当時の東京府がお茶の生産を奨励していたこともあって、杉並地域でもお茶を作るのが盛んになりました。しかし、東京市に出荷する野菜の量が増えるにつれて、作るのに手間や費用がかかる茶作りは敬遠されるようになり、明治末年頃にはあまり行われなくなりました。

この絵馬は、当時の茶作りの道具や作業風景を描いた絵として貴重なものであると同時に、杉並地域でもお茶作りが行われていたことを記録した珍しいものです。



	分類	名称	所在地
指定	有形民俗文化財(信仰)	板絵着色製茶図	上荻4-19-2 荻窪八幡神社
	有形文化財(歴史資料)	宗源寺開基碑	下高井戸4-2-3 宗源寺
登録	有形民俗文化財(信仰)	高円寺南一丁目(旧中山谷)所在民間信仰石造物	高円寺南1-11 高円寺南1-16-19 高円寺天祖神社

## イベントに出かけてみませんか

この春、科学館、郷土博物館ではみなさんが楽しめるイベントをたくさん用意しています。科学館ではサイエンスウィーク、ロボット杉並21を、郷土博物館では子ども向け企画展を開催します。お休みの日などに、ご家族や友だちといっしょに足を運んでみませんか？

### 科学館

#### 【ロボット杉並21】

ロボット・コンテストでは、「自律型ロボット」でタイムを競う規定競技、演技を競う自由演技を行います。また、当日はロボット絵画コンテストと題して、小・中学生が描いた作品の展示や、ラジコンでロボットの操作を体験するコーナーも開設します。

日時：3月21日(祝)、22日(土)  
午前9時～午後5時

会場：科学館

「ロボット杉並21」サイエンスウィーク」についての問い合わせ先：科学館 ☎3396-4391

#### 【サイエンスウィーク】

プラネタリウムの投映や科学実験の体験などを楽しむことができます。

#### サイエンスウィーク(春の一般公開)

会場：科学館

時間・内容	3月26日(水)	3月27日(木)	3月28日(金)	3月29日(土)
映画 10:20～10:50	昆虫記の世界	蜜蜂の行動をさぐる	小川で見つけたメダカやゲンゴロウたち	食べ物の旅
プラネタリウム 11:00～12:00	"太陽"～その素顔を見る～			
映画 13:15～13:30	さくらの四季	木は生きている	花粉のはたらき	モンシロチョウの観察
科学実験 ジュニアコース チャレンジコース 13:40～15:00	火虫	バランスあそび	空気のはたき	空気砲
	ガラスづくり	スライム	顕微鏡でみてみよう	いろいろな翼
プラネタリウム 15:15～16:15	"太陽"～その素顔を見る～			

各プログラムの定員は、映画220名、プラネタリウム140名、科学実験35～40名。科学実験は午後0時50分から整理券を発行します。科学実験の、ジュニアコースは5歳以上から小学校低学年、チャレンジコースは小学校高学年以上です。プラネタリウム番組は5歳以上が対象です。

#### 土曜科学講座(大人向)定員30名

3月29日(土)午後1時～2時「岩石から読み解く、地球内部の熱循環」

午後2時10分～3時10分「熱輸送の物理～地球温暖化～の正しい理解のために」

### 郷土博物館

#### 【子ども向け企画展 道具からみる ちょっと昔の暮らし】

小学生のみんなは見たことないかもしれないけど、みんなのお父さんやお母さん、おじいさんやおばあさんが見ると、思わず「あー、なつかしい!」と言ってしまう道具、そんなちょっと昔の道具を中心に、小学生のみんなにもわかりやすく紹介します。また、下記の行事も行いますので、ぜひご参加ください。

##### ・「着物のあれこれ お話と着付け体験」

日時：3月30日(日)午後1時30分～4時30分  
対象：区内在住の小学生とその保護者

くわしくは広報すぎなみ2月11日号をご覧ください。

##### ・「古民家の日」古民家に一泊してみませんか。

日時：4月26日(土)午後1時～4月27日(日)午前11時  
くわしくは広報すぎなみ3月11日号をご覧ください。

問い合わせ先：郷土博物館 ☎3317-0841

#### 教育委員会の動き 平成14年12月～15年2月

##### 【教育委員会開催状況】

定例会	4回
臨時会	1回
議案	16件
報告事項	19件
教育委員と語る会	1回
(西宮中学校)	

##### 【主な案件】

- は審議・は報告事項
- 名誉所長等の称号に関する規則
- 杉並区立科学館名誉館長の称号の贈呈について
- 杉並区立教育機関環境マネジメントシステム
- 規程の一部を改正する規程
- 教育財産の用途廃止について
- 中学校心身障害学級の新設について
- 常設展・阿佐ヶ谷文士村展の開催について
- 杉並区社会教育委員の選考基準の改正について